

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第179号

平成29年1月15日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 市之瀬正靖)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

「技術と安全の研鑽へ」

(一社)埼玉県電業協会 会長 岡村 一巳



岡村会長

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。また、日頃から当協会の活動に格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

去年は、イギリスがEU離脱を選択、フィリピンではドゥテルテ大統領が誕生、11月にはアメリカでトランプ氏が当選し、大統領

に就任する予定です。世界を見渡すと、自国だけがよければという、閉鎖的、排他的な価値観の肥大化により、ますます内向きな傾向が強くなっていると感じてなりません。

国内経済全体は、デフレ基調から抜け出せない状態ですが、震災からの復旧・復興、国土強靱化、そして東京五輪、首都圏再開発があるため、大手不動産・スーパーゼネコンは好業績を上げています。私たち地元企業も何とかその恩恵に預かりたいものです。

電気設備業界は、不安定な社会情勢の中、大なり小なり工事量が増え、担い手不足の問題などがありますが、現在は以前よりも将来に希望が持てる状態だと思います。但し、余りにも時代の変化が早い

ため、それについていくことだけでも大変です。

当協会では、久しく会員増強を目指してきてい

ます。官庁工事の発注は、指名競争から一般競争入札が当たり前の時代になりました。しかし、いつまでも分離発注・一般競争入札・ダイレクト型が幅を利かせているかわかりません。PFI方式、DB(設計・施工一括)方式、リース方式、総合評価落札方式と、いろいろな入札が近年行われてきています。ですから、私たち志を同じくする電気工事業者は、さらなる会員増強に努め、技術と安全の研鑽を積むことにより、ときには、私たちの社会的な地位向上のために、行政に対しても今以上に働きかける団体にならなければならないと思います。

担い手確保・育成・定着のための事業では、工業高校との意見交換を積極的に行っています。資格習得の勉強会は、本年は県より補助金を頂いて低額で1種、2種の電気工事士取得の講習を行っています。さらに、私たち電気設備業者の骨格となる1級電気工事施工管理士取得のための受験準備講習会は2コースで実施しています。新たな取り組みとして、若者たちの生きがいの追求を手助けする婚活事業を埼玉県電気工事工業組合と共催いたしました。各種事業につきまして、すぐに成果が出るかはわかりませんが、根気強く続けていきたいと思っています。

本年も、こうした地道な活動の積み重ねにより、強固な組織として発展し続け、発注者や地域社会への貢献を担う団体として、公共事業の整備に努めて参る所存です。

埼玉県優秀建設工事表彰

埼玉県が発注した建設工事において、その工事を優秀な成績で完成した建設業者、現場代理人などを他の模範となるものとして、毎年表彰しています。

平成28年度に表彰された電気設備工事部門のうち、当協会会員が受賞した工事は次のとおりです。

平成28年度優秀建設工事施工者表彰

(敬称略)

〇知事表彰	埼玉電設(株)	15埼玉スタジアム2002スタジアム音響設備更新工事
-------	---------	----------------------------

平成28年度県土づくり優秀建設工事施工者表彰

〇営繕工事事務所表彰	(株)栗原電機	14児玉白楊高校工業科実習棟電気設備工事 (その2)
〇営繕工事事務所表彰	熊谷電機(株)	14熊谷スポーツ文化公園屋内運動施設膜屋根等復旧電気設備工事
〇営繕工事事務所表彰	(株)東電工業社	15川の博物館本館棟ほか電気設備改修工事
〇大宮公園事務所表彰	(株)八洲電業社	15大宮公園事務所ほか電気設備改修工事

平成28年度県土づくり優秀現場代理人等表彰

〇設備課表彰	現場代理人兼監理技術者 加藤光雄 埼玉電設(株)	15埼玉スタジアム2002スタジアム音響設備更新工事
〇営繕工事事務所表彰	主任技術者 栗原裕司 (株)栗原電機	14児玉白楊高校工業科実習棟電気設備工事 (その2)
〇営繕工事事務所表彰	現場代理人兼主任技術者 芹澤悟 熊谷電機(株)	14熊谷スポーツ文化公園屋内運動施設膜屋根等復旧電気設備工事
〇営繕工事事務所表彰	現場代理人兼主任技術者 永井昭彦 (株)東電工業社	15川の博物館本館棟ほか電気設備改修工事
〇荒川右岸下水道事務所表彰	現場代理人 後藤利行 内山電設(株)	右岸流域処理場特高受変電建築付帯電気設備改築工事

「新しい時代の幕開け」



上田知事

埼玉県知事 **上田 清司**

明けましておめでとうございます。一般社団法人埼玉県電業協会の皆様には健やかに平成29年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、本県ゆかりの選手が大活躍でした。選手の皆さんの全力を尽くす姿に、大きな感動と勇気をいただきました。

2年後の2019年にはラグビーのワールドカップ大会がアジアで初めて開催され、熊谷市が会場の一つになります。

翌年の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本県も世界が注目するビッグイベントの舞台となります。両大会がすばらしい大会になるように、そしてその舞台で広く世界に埼玉を知っていただけるように、しっかりと準備を整えてまいります。

さて、埼玉県の勢いには、特にここ10年、目を見張るものがあります。

圏央道の県内区間全線開通や、北陸新幹線、北海道新幹線の開業で全国各地へとつなぐ交通アクセスが飛躍的に向上し、本県の立地優位性は大いに高まっています。

事実、企業本社の転入超過数は2015年までの10年間で927社と全国1位、2003年から2013年までの県内総生産の増加額、全国シェアの増加ポイントともに愛知県に次いで全国2位となっています。

このように、埼玉県は著しい成長を遂げておりますが、今後は今まで経験したことのない局面を迎えます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年にかけては、急激に高齢化が進むとともに、生産年齢人口の減少による社会の活力の低下が懸念されています。

誰もが将来に希望を持ち、生き生きと活躍できる社会を築くため、更に知恵を絞り工夫をしなくてはなりません。

埼玉県は、本質を突いた施策の展開で国を動かしてきました。

貧困の連鎖を防ぐために埼玉県が始めた生活保護世帯の子供の学習支援は国を動かし、また国民健康

保険のデータを活用して県を挙げてハイリスク者に受診を働き掛ける糖尿病重症化予防対策も国から「埼玉県方式」として注目されています。国全体では難しいことでも、地方があえて踏み込み、国全体の成果につなげることができるのです。

工夫できることは、まだまだあります。

生産年齢人口が減少する中では、社会の担い手としてシニアや女性の社会参画が大変重要です。

実は65歳以上の約8割は介護の必要のない元気なシニアです。こうした元気な高齢者が自身の希望に合わせて仕事やボランティアに参加し、社会の担い手として活躍することを目指す「シニア革命」も本格化しています。また、シニア革命を支える「健康長寿埼玉プロジェクト」も全県で展開しているところです。

女性の社会参画を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」は、グーグルで「ウーマノミクス」と検索すると上位3つが埼玉県の取組であるほど、全国に知られています。

さらに、本田技術研究所と連携して開発した小型マグネシウム蓄電池など、既にその成果が出つつある「先端産業創造プロジェクト」も力強く進めていきます。ナノカーボン、医療イノベーション、ロボット、新エネルギー、航空・宇宙といった重点5分野は、医療・介護や日本の産業の課題解決に非常に高いポテンシャルを秘めています。情報・人材・技術を埼玉に集積して、研究機関や大学の先端シーズと企業の持つ優れた技術を結び付け、更には地域金融機関など様々な機関との連携を深化させ、実用化、製品化開発を促進していきます。

また、日本の将来に関わる重大な問題である少子化対策にも力を入れて取り組みたいと思っています。

日本は今、様々な課題を抱えています。私は、これまで県民の皆さんと築いてきた強固な基盤を土台として、今後も時代の本質を考え、その解決に向け全国をリードしていきたいと考えています。

今年は酉年。「酉」という字は酒つぼを表し、酒は果実が成熟したものということから、酉年は成果が表れる年と言われています。大きな成果が実を結ぶすばらしい年になりますよう、今年も県政への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

セミナー

マイナンバー(番号)制度と 建設業者(民間事業者)の対応 ～建設企業が行わなければならないこと～

主
業
要



講師の森谷氏

11月18日、東日本建設業保証(株)埼玉支店の協力を得て、さいたま市浦和区の埼玉教育会館で平成28年度第2回企業対策セミナーを開催しました。参加者は30人。講師は税理士法人あすなろ代表の森谷修一氏。『マイナンバー(番号)制度と建設業者(民間事業者)の対応～建設企業が行わなければならないこと～』をテーマに、個人番号カードの特性と、今後の本格的な運用の見通しが紹介されました。

マイナンバーカード本体については、表と裏の券面情報のほか、ICチップの空き領域の利用の可能性として、印鑑登録証・公共施設予約・コンビニ交付・地域の買い物ポイントなどを例え、また電子証明書のインターネットバンキングなどのイメージが紹介されました。

心配されるセキュリティに関しては、個人番号カードに格納される公的個人認証サービスが採用する公開鍵暗号方式について、秘密鍵と公開鍵がペアとなっており、片方の鍵で暗号化されたものは、もう一方の鍵でしか復号できない性質を持つ

ことで安全性を担保している仕組みが説明され、将来は個人番号カードによるワンカード化が進むとの見通しが示されました。

公共事業の入札で使われているチャレンジレスポンス認証について森谷氏は、「解説が非常に困難で複雑だが、逆にいえばどれだけ安全かということ。成りすましが難しく気付いた時点で失効も可能。金融機関のキャッシュカードとの一体化が前提の話で、近い将来ATMも変わるだろう」などと話しました。

なお、セミナー終了後は会場を移し、懇親会を開きました。



本格運用を前に今後の見通しを学んだ

技術講習会

リニューアル需要探る

第2回技術講習会を開催

主
業
要

12月6日、さいたま市南区の建産連研修センターで、平成28年度第2回技術講習会を行いました。第1部ではパナソニックエコソリューションズ創研(株)の千代和夫上席コンサルタント(工学博士・技術士・立命館大学客員教授)を講師に迎え、『非住宅市場 リニューアル需要開発セミナー』を開催。第2部では県環境部産業廃棄物指導課から岩村響主査(監視・指導・撤去担当)と、星野大起主任(総務・普及啓発担当)を招き、『電気設備工事で発生した産業廃棄物の処理に関する注意点』について学びました。

岡村会長は冒頭、当日のテーマと講師を紹介した後、「どちらも大変興味深い内容ですので、ぜひとも参考にいただければ」とあいさつしました。

第1部で千代氏は、『リニューアル需要の新規開発を考える』をテーマに、▽省エネ政策動向とリニューアル市場▽省エネ補助金の活用提案▽リニューアルの核としてのLED照明▽最新トレンドであるBEMSとZEBの動向ーのメニューに沿って解説されました。あかり文化の向上と地球環境への貢献が期待されるSSL化の推進につい

て、市場のLED化率が10%程度で、ストック市場のポテンシャルはまだ高いと推測。非住宅照明も着実にLED化が加速する予測をデータを示し説明しました。

第2部では、岩村主査が将来への課題として、太陽電池出荷量の推移をもとにした排出量の見込みから、大量の撤去・回収・分解処分が元請企業に求められることになるため、リサイクル技術の確立の重要性などについて話しました。

続けて、太陽光パネルの基本構造について、代表的な事例として結晶シリコン太陽電池モジュールの断面図を見ながら、低コストな分解処理方法として、機械による剥離、化学的剥離、熱剥離、焼却除去などの技術を紹介しました。

また星野主任は、変圧器、コンデンサー、安定器などに使用しているPCB(ポリ塩化ビフェニル)含有機器の処理について解説しました。



講師の千代氏

埼玉県電気工事工業組合と共催で、「婚活パーティー」を開催

新規事業として、当協会と埼玉県電気工事工業組合の共催による『婚活パーティー』が12月17日、さいたま市中央区のホテルブリランテ武蔵野で開かれ、約80人が参加しました。

パーティーは両団体の会員・組合員の福利厚生の一環として、電気工事業界に勤める人の職場定着化を主眼に、ライフサイクルの確立と、社会的な自立を促すことで、業界で活躍する人材を育むイベントとして企画されました。

参加者は交流タイム、自己紹介&歓談タイム、シャッフルタイムなど、用意されたスケジュールに沿って、相手を気遣い、自分をアピール。終始和やかな雰囲気の中で交流を深めていました。

岡村会長と沼尻理事長は「今回の婚活パーティーで良い結果が出ることを願っています。良

い結果が出れば2回目を計画したい」と話していました。



婚活パーティーであいさつする岡村会長

埼玉県が市町村支援 公共施設アセットマネジメント推進会議

埼玉県は市町村が取り組むアセットマネジメントを支援しています。その一環として、6月30日に、さいたま市浦和区のとときわ会館で、第1回埼玉県市町村公共施設アセットマネジメント推進会議を開催しました。東洋大学PPP研究センター長の根本祐二氏が専門的な立場から講演を行ったほか、アセットマネジメント先行取組団体の事例などが報告されました。また、技術職支援について、埼玉県都市整備部設備課の根本輝主幹（企画・設備技術担当）が①設備課の業務内容②県施

設を再活用した事例の紹介③エコオフィス化改修工事について④ESCO事業について、解説されました。詳細は同課ホームページより資料をご覧ください。

なお、県では技術支援相談窓口を設置しており、電気設備、空調設備、給排水設備は都市整備部設備課TEL048-830-5638（企画・設備技術担当）、建築関係は都市整備部営繕課TEL048-830-5619（企画・建築技術担当）までお問い合わせください。

故・町田迪氏 お別れ会 多くの業界関係者が故人の功績を偲ぶ

10月5日に79歳で亡くなった弊社元会長の故町田迪氏を偲ぶ『お別れ会』が11月17日、さいたま市南区の建産連研修センターで開かれ、親交のあった業界関係者らが参列して別れを惜しみました。

平成4年5月から副会長、同6年5月から8年間会長とし指導力を発揮し、協会の健全な発展に尽力されました。その間会員の受注機会の拡大、技術力向上、社会貢献に熱心に取り組まれ、会長としてあらゆる機会を通じて陳情を繰り返し、電気設備工事の分離分割発注導入に向けて精力的に活動。その功績から黄綬褒章、旭日双光章の栄誉にも浴しています。



故人の長男 町田浩征氏が参列者にお礼

ご発注の前に —お客様の声を直接わたしたち 電気設備工事会社にお聞かせ下さい—

当協会ではお客様のご要望に応える設備を提供するため、電気設備工事の予算が確定できる『分離発注方式』を選択するメリットを分かりやすく伝えるパンフレットを作成しました。普段から、安全・安心な生活を支える社会インフラの要である電気を守っているのが地域の電気設備工事会社です。私たちがご協力できる低酸素社会への貢献などもご紹介しています。

協会ホームページでもご覧いただけます。





プレッシャーに 打ち勝つためには

太洋電設工業(株) 代表取締役 浅子さゆ美

Voice

父から代表取締役を引き継いで5年が経ちます。

OA機器販売の営業アシスタント事務だった私が、全く業界の違う電気工事会社の代表取締役。不安とプレッシャーの毎日でした。

体調が悪くなり医者へ行けば『ストレスです』と診断され、体の痛みが出て医者に行けば『ストレスからくる神経痛です』と言われ・・・。

社員とのコミュニケーションや、業界でのお付き合い。私が苦手とする広く浅くのお付き合いになかなか慣れず四苦八苦していました。OL時代に感じていたストレスと、経営者として感じるストレスがこんなにも違うとは思っていませんでした。経営者は案外孤独です・・・。

そんな日々を過ごして約4年が経つ頃、「このままではいけない!」と感じ、自律神経を整えるといわれるぬり絵を始めたり、友達と映画や温泉に出かけ心身を癒したり、頭の中をリセットするようにしました。自分の時間を上手に使えると気持ちに余裕ができ、少しずつですが冷静な考え方が出来るようになりました。不思議ですね。

まずは私が私らしくいられるような環境を作り、社員に仕事のしやすい場を与えられるよう、寛大な心がもてる余裕を作っていければと思います。

思えば、父(浅子 洋)は、有言実行がぴったり当てはまるような人間で、仕事でも私生活でも、何か思いつけば実行に移してきました。社員はついていくのが大変だったようですが、市内では老舗として太洋電設工業の名を広め、優良企業として注目される存在にまでしてくれました。私とは正反対の性格ですが、ここまでにするのには色々な苦労があったと思います。父と同じようにとはいきませんが、私なりに働きやすい職場を目指し【なるようになるさ】精神で頑張っていこうと思います。



父は現在、太陽光発電のソーラーシェアリング(営農型)を地元で提案し、今年4カ所の施工を終わらせ、来年3ヶ所を施工予定です。

75才にして新しい事業を始めるなんて・・・! 負けてられません!

「魅力を発信する企業へ」

熊谷電機(株) 小林 将博

協会だより
北部支部

世界三大スポーツ大会のうちの二つが2019年と2020年の2年続けて日本で行われます。2019年にラグビーW杯、2020年は東京五輪(あと一つはサッカーW杯)、そのいずれにおいても埼玉県内の施設が会場指定されており、それに伴い県内の建設業も活況となることが期待されています。

熊谷ではラグビーW杯が開催され、会場となるラグビー場の改修やインフラ整備が進められており、熊谷市をはじめ県内では大会を盛り上げるため、熊谷市のキャラクター「ニャオぎね」のグッズ化やタグラグビーの普及など様々な取り組みで盛り上がりをみせています。

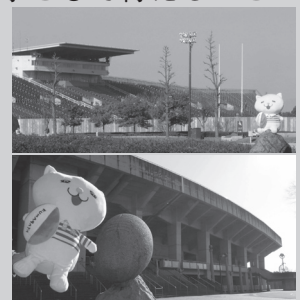
W杯開催にあたりラグビーという競技について考えてみると通じるものが多いと感じます。多様な特徴と役割を持った選手でチームを作り競い合うスポーツがラグビーです。身体の大小や足の速さなどを優劣ではなく、それぞれの持ち味として活かし合う事で良いチームとなることが出来ます。どんなスーパースタープレイヤーがいても一人では点を取ることに難しく、チームの総合力が勝敗を左右するため、最も番狂わせ

の起きにくい競技とも言われています。

『One For All, All For One』と『No Side』という精神がありますが、もう一つ『ノブレス・オブリージュ』というものがあります。要約すると『上に立つ者には立つ者なりに負う義務がある』と考えられています。

電業協会会員同士と一口に言っても多様な業種、業者がいて各企業にはそれぞれ持ち味があり、様々な形で分業もあります。仕事上では競争相手ですが、共に施工にあたる時や災害対策、美化活動などの折に、ともに地域のライフラインを支える仲間である事を改めて実感できます。

当然の事を「当然」の事として行えることこそ大事で、人材不足が喫緊の課題となる中、地域の発展と矜持を共有し、企業はそれぞれの魅力を発信していくことで業界への理解を深めていければ、より良い未来に繋がるものと考えています。



協会のうごき

12月

- 1日 第2回総務委員会
6日 第2回技術講習会
13日 県営住宅消防・電気設備等保守点検業務(第2回)説明会
20日 第10回協会理事会
第2回収益事業役員検討会議
28日 仕事納め

1月

- 5日 仕事始め
13日 新年挨拶回り
19日 第2回企業対策委員会

- 27日 経営者セミナー
平成28年賀詞交歓会

2月

- 3日 第2回技術研究委員会
第3回事故防止対策委員会
第1回技術研究・事故防止対策合同委員会
7日 第2回広報委員会

- 第8回人材育成委員会
第2回広報・人材育成合同委員会
16日 第3回総務委員会
21日 第11回協会理事会

3月

- 21日 第12回協会理事会

建設業担い手育成事業(県委託事業)

石綿作業主任者技能講習	1月20・21日
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1月26・27・28日
足場の組立て等作業主任者技能講習	2月9・10日

(一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部(13社)

- 旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
○国益電設工事(株)(南区)
○埼玉電設(株)(中央区)

[さいたま市]



- 新生電気工事(株)(見沼区)
竹内電気(株)(岩槻区)
(株)積田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(岩槻区)
(株)万代電気工業(桜区)
瑞穂電設(株)(北区)
(株)八洲電業社(北区)

東部支部(12社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

- (株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
太洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
○ニチデン技術サービス(株)(北本市)
野口電気工事(株)(越谷市)
深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部(19社)

- (株)新井電機(飯能市)
○飯島電器工事(株)(川越市)
◎(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
○橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部(9社)

- ◎内山電設(株)(川口市)
(株)奥富電気工事(川口市)

- (株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
(株)田部井電気(川口市)
釣谷電機(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部(15社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
(株)イトラスト埼玉(行田市)
(株)エコー(深谷市)
共和電機(株)(秩父市)
◎熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野町)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(鴻巣市)
松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
○(株)躍進電気(深谷市)

埼玉県建築設備関連3団体連絡会議

埼玉県設備設計事務所協会(金子和巳会長)、埼玉県空調衛生設備協会(大原萬彌会長)との建築設備関連3団体による連絡会議が12月2日、さいたま市中央区のラフレさいたまで開かれ、当協会からは岡村会長、山口副会長、熊田副会長、荒川専務理事が出席しました。会議では、担い手確保・育成に関わる次世代教育や、改修工事での設計変更、現場管理など団体に課せられている共通問題について議論しました。



3団体の幹部が顔をそろえた



岡村会長ら4名が出席

電気に親しもう！ 県庁オープンデーに協賛

11月14日の『県民の日』に県庁オープンデーが開催され、当協会人材育成委員より企画した“電気に親しもう”のコーナーを出展しました。電気設備を身近に感じて頂くために、発電・工作・展示コーナーを設け、多くの親子にご参加いただきました。発電自転車をこいだ電力でブザーや発熱電球・LED電球を次々点灯させたり、太陽光で動くバッタを委員による手助けを受けながら工作し、光をあて動くバッタを目にしたときに、参加した子供たちの大きな歓声が上がっていました。展示では東芝電材マーケティングの提供により殺菌効果がある電解水生成器や最新LED電球が並び、目を引いていました。



自転車をこいで自分の力で発電